NEC スリムメイド 取扱説明書

保証書添付　保存用

●このたびはNEC 照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
●施行の前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施行してください。
●取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管ください。

安全上の注意

・ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・お読みになったあとは、（いつでも見られる所に）必ず保管してください。

「警告表示の図記号と用語について」

⚠**警告**とは誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。
⚠**注意**とは誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
🚫：絶対に行わないでください。　❗：必ず指示に従い、行ってください。

⚠ 警 告

⚠ しろうと工事は危険です。
電源の工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。
一般の方の工事は法律で禁止されています。

🚫 部品の追加や改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因となります。

❗ 器具の取付（施工）は、器具の取付方法にしたがい確実に行ってください。
不確実な取付（施工）をしますと、器具の落下・火災・感電・けがの原因となります。

❗ 電源線接続は確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良による発熱、火災の原因となります。

🚫 風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。
漏電し、火災・感電の原因となります。

🚫 器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。
火災・感電の原因となります。

❗ 器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

🚫 お手入れの際は、水洗いはしないでください。
火災・感電の原因となります。

❗ 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切ってください。
異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

🚫 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。
火災の原因となります。

❗ ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定された（適合する）ランプを使用してください。
指定以外（適合しない）ランプを使用すると、火災の原因となります。

❗ ランプ交換等によりカバー、本体などを外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。
不完全に取り付けると、器具の落下・火災・感電・けがの原因となります。

❗ ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

🚫 ヒキヒモにぶらさがったり、強くひっぱらないでください。
落下・けがの原因となります。

🚫 ヒキヒモで遊んだり体に巻きつけたりしないでください。
けがの原因となることがあります。

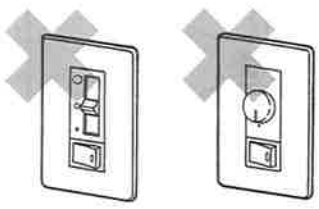
⚠ 注 意

🚫 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

🚫 点灯中及び消灯直後はランプが熱いので手や肌などをふれないでください。
やけどの原因となることがあります。

⚠ **壁付調光器のある回路では使用できません。**
照明器具が故障します。

本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
（調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。）



《調光器付壁スイッチ代表例》

⚠ この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用すると、漏電し感電・火災の原因となることがあります。

⚠ ランプ交換やお手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。
消灯直後にランプ及びランプの周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

❗ 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。
不具合がありましたら、そのまま使用しないで、工事店、電気店に修理を依頼してください。

❗ 使用済のランプは割らずに廃棄してください。
ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

❗ 壁スイッチのみで使用される場合は、時々プルスイッチの操作を行ってください。
スイッチ機能が損われ、火災の原因となります。

🚫 ヒキヒモに物を吊るさないでください。

使用上のご注意

●照明器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
●ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。ランプ破損の原因になります。
●この器具は屋内専用です。５℃～35℃の範囲内で使用するようにしてください。
●ご購入後の初期点灯時にランプの電極付近が黒くなっていることがありますが、しばらく点灯しておくと消えます。
●このような状態になりましたら、器具のワット数に応じたランプに取替えてください。（寿命です）
・ランプの端部が黒ずんだとき。　・点滅を繰り返すとき。　・明るさが低下したとき。
必ず電源を切り、ランプが冷えてから取替えてください。
●ランプはランプソケットに確実に取付けてください。
●ストーブなど、温度の高くなる物の真上やその付近、および水や湿気のかかる場所では使用しないでください。
●正しい性能を維持するため、蛍光ランプを必ず２灯取り付けてご使用ください。

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。
○明るく安全に使用していただくため、定期的（６ヶ月に１回程度）に清掃、点検してください。
○ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
○器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
○セード（樹脂）の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水（中性洗剤）を含ませて汚れをふき取ってください。
その後、水ぶきして石けん分を取り除いてください。
○セード（和紙及び布等）の汚れを取るときは、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。
○木製の部分は、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。
○照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の交換時期は８年～10年です。

NECライティング株式会社
東京都品川区大崎1-2-2
〒141-0032　http://www.nelt.co.jp/
※この紙は再生紙を使用しています

＜お客様相談室＞ フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間　平日9:00～12:00　13:00～18:00
（土、日、祭日は受け付けておりません）
FAX. 03-5719-8131

点灯順序

引きひもの操作をすることで次の点灯順序となります。

2灯全光 → 2灯調光点灯 → 保安球点灯 → 消灯

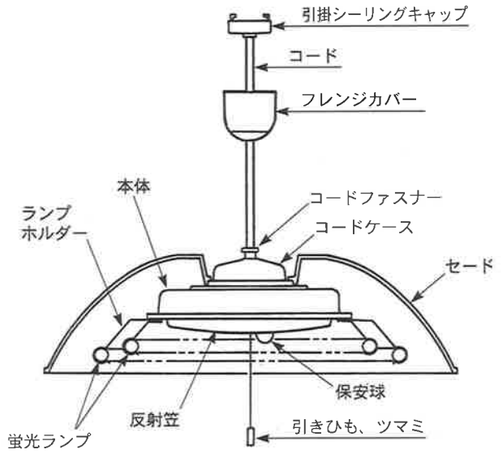
●壁スイッチのみで使用される場合は、時々、引きひも(プルスイッチ)での操作を行ってください。
長期間、引きひもでの操作を行なわないと、スイッチの接点が酸化し接触抵抗が高くなり熱を持ちますので故障することがあります。

定格

型式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安球	始動方法
20形＋34形 (弊社形式：8CK***)	AC100V (交流)	50Hz／60Hz	76W	FHC20(高出力点灯28W) FHC34(高出力点灯48W)	E12なつめ球 (5W)	インバータ式
27形＋34形 (弊社形式：9CK***)			85W	FHC27(高出力点灯38W) FHC34(高出力点灯48W)		

各部の名称

注) この図は代表的な器具の部品構造部です。
機種によってはセードの取付構造の異なったものや、フレンジカバーのない器具もあります。



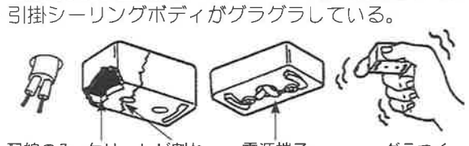
器具の取付方法

1 取付前の確認

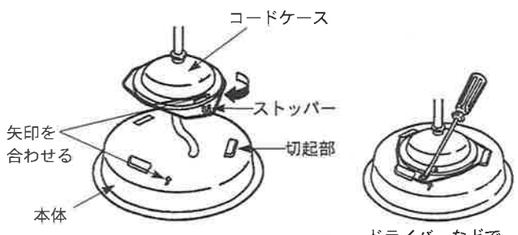
■取付できない天井と引掛シーリングボディ
下図の場合は、電気工事店か販売店に依頼してください。

**電源工事は電気工事士の資格が必要です。
工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。**

・引掛シーリングボディが取付けられていない。
・引掛シーリングボディが破損している。
・電源端子露出型引掛シーリングボディが取付けられている。
・引掛シーリングボディがグラグラしている。



2 コードケースを下図のように器具本体背面の切起部3ヶ所にはめて回り止め用ストッパーを、本体の穴に曲げ込んでください。

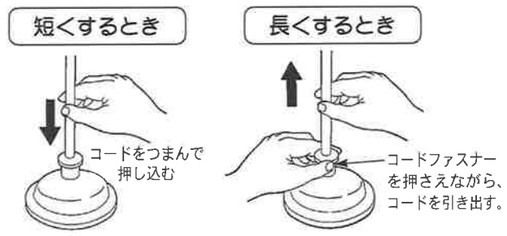


➡印を合わせて、3個のツバを本体の切起部に完全にはめてください。

必ず回り止め用のストッパーを本体の穴に曲げ込んでください。コードケースを左に回して外れないことを確認してください。

3 コードの長さを決めてください。

——あらかじめ天井と器具の間隔を決め、下図の要領でコードの長さを調節します。



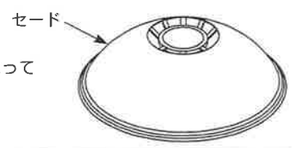
コードの長さを調節したらコードファスナーを引き上げてコードを固定させてください。

注)コードファスナーが斜めになっていると器具が傾くことがありますので、コードファスナーは水平になるように調節してください。

4 セードの取付

セードとセードの本体に乗る部分が一体の場合

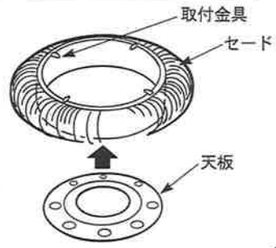
コードをセード中央穴に通し、セードを本体にのせてください。



※セードは機種によって異なります。

セードとセードの本体に乗る部分が分離している場合

本体に乗る部分(天板)を本体部に乗せ、セードについいる取付金具を回してセードを天板の上に乗せる。

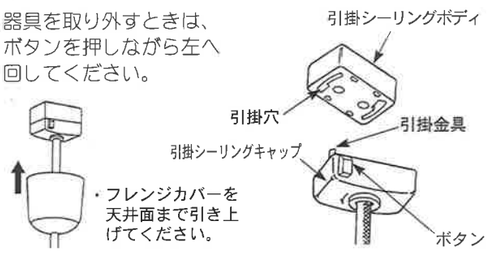


※セードは機種によって異なります。

5 引掛シーリングキャップを持って天井の引掛シーリングボディへ引っ掛けてカチッと音がするまで、右に回して器具を吊り下げてください。

ボタンを押さずに左に回して引掛シーリングキャップが外れないことを確認してください。

器具を取り外すときは、ボタンを押しながら左へ回してください。



⚠警告 落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

故障のときの処置

ご使用中に異常が生じたときは右表を参考にお調べください。
右表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC商品取扱店へご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形式名およびお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
形式名は器具本体部に貼り付けてある器具ラベルに表示してあります。

故障の状態	主な原因
蛍光ランプが点灯しない	○壁スイッチがオフになっている ○蛍光ランプがランプソケットに正常に取り付いていない ○蛍光ランプの寿命
保安球が点灯しない	○保安球のゆるみ ○保安球の寿命
いずれも点灯しない	○電源が切れている

ランプ交換の方法

この器具は、FHC(高周波点灯専用環形蛍光ランプ)専用です。

消灯直後は高温になっていますので注意ください。

●電源を切ってランプを反射笠に表示されているランプの種類に合わせて交換してください。

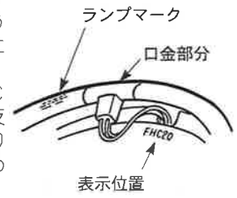
●より安全、確実にランプ交換していただくために、また清掃も兼ねて照明器具を下へ下ろしてお取り換えください。

●ランプ取付時は下図のようにランプの位置、ランプソケットのコード位置を調整してください。

1 ランプ小の取付

●8CKの場合(FHC20ランプ)

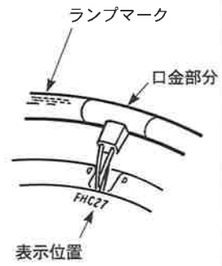
①FHC20ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC20ランプの口金部分は反射笠のFHC20の表示より少しずらした位置に合わせてください。



②ランプソケットをFHC20ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。

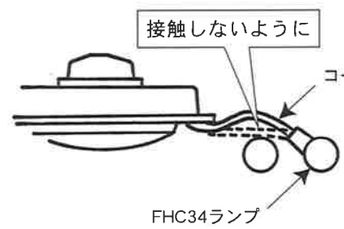
●9CKの場合(FHC27ランプ)

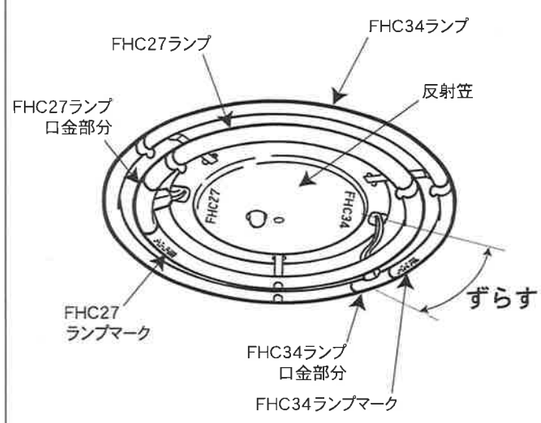
①FHC27ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC27ランプの口金部分は反射笠のFHC27表示位置に合わせてください。
②ランプソケットをFHC27ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。



2 ランプ大の取付(FHC34ランプ)

①FHC34ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC34ランプの口金部分は反射笠のFHC34表示位置から少しずらして取り付けてください。
②ランプソケットをFHC34ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。
③ランプソケットのコードが内側のランプに接触しないように調整してください。





※図は9CKの場合です。8CKの場合は、FHC27がFHC20となります。

〈ご注意〉
・蛍光ランプおよび保安球をランプホルダーで弾かないでください。
・蛍光ランプの口金は多少動くように作ってありますが、無理に回さないでください。